



のびゆく北谷っ子



震災や大事故の貴重な教訓を生かして

校長 小林 央士

例年なら学校だより1月号の冒頭は、「新年あけましておめでとうございます」と申し上げ、2学期お世話になった保護者及び地域の皆様に新年のご挨拶を述べさせていただくところです。しかし令和6年の年明けは、そのような書き出しが憚られるような、大きな災害と事故が発生し、日本中に衝撃を与えました。

1月1日の午後4時10分に発生した「令和6年能登半島地震」は、マグニチュード7.6という大きな震災となりました。1月4日現在の報道では死者73人、地震による重軽傷者がおよそ400人とされ、今もなお懸命な救出活動が行われています。これ以上被害が広がらないことを祈るばかりです。

地震に伴い、2日午後には羽田空港で日航機と海保機が衝突するという惨事が発生しました。海保機の乗員のうち、機長を除く5人の職員の方が亡くなられるという痛恨の事態となりました。被災地に支援物資を運搬するために、新潟に向け出発する予定だったといえます。ご無念に胸が痛みます。

震災も事故も、予期せぬ時に起きるのは常です。でも、そこから得られた貴重な教訓から学び、今後の学校の安全に生かすことができると思います。

日航機と海保機の事故では、日航機の乗客379人全員が脱出できました。そこには各乗務員の素晴らしい仕事と乗客の協力がありました。事故直後、機内はインターフォンが使えない状態となり、機長が各乗務員に指示を出せない事態となりました。それでも乗務員は冷静に自身の判断で扉を開け、乗客を安全に誘導して脱出させました。乗客もパニックに陥りながらも乗務員を信頼し、荷物をもち出そうとせず、その指示に的確に従ったことが奏功したといえます。海外メディアはこの脱出劇に驚き、「奇跡的だ」「乗務員がいかに訓練されていたかわかる。彼らは驚くべきよい仕事をした」と挙って称賛しました。

着目すべき点はいくつもあります。まず、訓練がきちんと行われていたこと。日航は全乗務員対象に年1回丸一日かけて、非常用ドアの操作等の脱出訓練を行うといえます。事故当時機内には煙が立ち込め、炎の熱さすら伝わる極限状態でした。そんな中冷静さを失うことなく、必死で乗客に安全を呼びかけ誘導した乗務員のプロフェッショナル意識と実践力は、訓練の賜物といえます。

そして今回のように機長の指示が届かない事態も想定される等、事故対応マニュアルがよく練られていたことです。日航は有事のたびにマニュアルの不断の見直しを図ってきたのでしょうか。最後に、乗客がパニックに陥りながらも乗務員の指示に従い、自制心をもって避難できたことです。海外の専門家も、「乗客は、乗務員の指示に反して荷物を持ち運ぼうとして、全員の脱出に影響を与えることがある。今回の脱出成功は特殊な部類で、教科書的だ。」と高く評価しました。奇跡に見える脱出は、乗務員の確かな訓練と、一人の犠牲者も出さないという、その場にいた全ての人々の信念と力強い行動に支えられていました。

能登地震の被害に苦しむ方々の一日も早い救済を切に願います。そして、改めて自校の避難マニュアルを見直したいと思います。1月19日(木)に不審者対応避難訓練を予定しています。今年度から、吉川警察のご協力をいただきます。犯人役を警察官の方に依頼し、全校児童への指導と、職員へのさすまた訓練も予定しています。そこで、子供たちに冷静に行動し避難することの大切さを改めて伝えたいと思います。

1995年の阪神淡路大震災では、被災地に取材に入った海外メディアが被災者の行動をみて驚いたといえます。指示する者がいないのに、人々が整然と列をつくり支援物資を受け取ったり、役割分担が自然に成立し、避難生活が効率的に行われたりする等、被災地で秩序が守られていたからです。専門家はこれを「彼らが日本の学校教育で受けた当番活動や係活動の成果ではないか」と評価しました。今回の脱出劇も、幼稚園から始まる学校での避難訓練の成果があるのではと感じるのは、私だけではないと思います。

学校で行う教育活動には一つ一つ大切な価値があると思います。3学期も、様々な教育活動を通して北谷小を楽しい学びの場に、そして安全な場所であるよう職員一同努力してまいります。

第3回授業研究会【12/6(水)】

東部教育事務所並びに市教委の指導主事の方々をお招きし、国語科を中心とした授業に対するご指導をいただきました。全学級が授業を公開し、4、5時間目に4年1組と6年1組が研究授業を担当しました。どの学級も子供達の活躍がみられ、「読む力」「書く力」「伝え合う力」の育成に資する授業が展開されました。



消防自動車見学体験・3年生【12/7(木)】

吉川松伏消防組合の皆様ご来校いただき、消防車見学体験を行いました。本物の消防自動車と救急車を目の前にして、興味津々な子供達。質問タイムでは、隊員の方が様々な質問に快く答えてくださいました。私たちの安心・安全な暮らしを支える仕事について、体験を通じた貴重な学びができました。



食育なまず集会【12/8(金)】

先月号で予告していた「食育なまず集会」を行いました。なまず料理という素晴らしい地域の特産物を知ること、吉川のよさに気付き、子供達の郷土愛を高めることを目的とした全校行事です。

まず、3年生が総合的な学習の時間に調べたことを、楽しい寸劇形式で発表しました。なまずの種類や体のつくり、特性など、大変分かりやすかったです。次に、担当教員によるなまず料理に関するスライドを使った説明。最後は地元「割烹ますや」さんのご主人がずの天ぷらの魅力について直接お話ししてくださいました。また、集会が終わる頃には、揚げたての天ぷらが学校に届けられ、給食の時間に味わうことができました。「すごく美味しい。」「サクサク。」感激の声があちこちであがっていました。ますやの皆様、本当にありがとうございました。



校内書きぞめ展【12/12(火)】

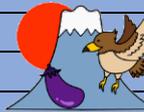
令和5年度の各学年の課題は以下の通りです。

- | | |
|-----|---------|
| 1年生 | 「お正月」 |
| 2年生 | 「はつ日の出」 |
| 3年生 | 「せかい」 |
| 4年生 | 「竹うま」 |
| 5年生 | 「春まつ心」 |
| 6年生 | 「自然の美」 |

全体のバランスを考えながら、心を込めて丁寧に仕上げました。



1月の行事予定

日	曜	行事予定
1	月	元旦 冬季休業日
2	火	
3	水	
4	木	給食費引落日 (2か月分 8200円) 
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日 
9	火	第3学期始業式 特別日課3時間授業一斉下校
10	水	3時間授業 発育測定(5・6年)
11	木	給食開始 発育測定(3・4年)委員会 PTA 運営委員会 
12	金	発育測定(1・2年・少人数)小中一貫相互授業参観
13	土	PTA 資源回収
14	日	
15	月	学級の時間 読み聞かせ(少人数)給食費再引落日
16	火	
17	水	クラブ
18	木	避難訓練(不審者) かかやきタイム
19	金	ふれあいデー
20	土	
21	日	
22	月	仲良しアンケート 
23	火	
24	水	クラブ(クラブ紹介撮影)
25	木	リユース見学(4年) 栄養指導(3年)
26	金	北谷小入学説明会 花の子相談
27	土	
28	日	
29	月	朝会
30	火	スクールカウンセラー来校
31	水	委員会

※毎月21日あるいはその前後を「ふれあいデー」としています。1月のふれあいデーは19日(金)です。ふれあいデーの際には、職員は16:50に退勤するため、それ以降は電話等に対応することができません。ご了承くださいませよう、よろしく申し上げます。

- | | | |
|----|------|----------------|
| 1月 | 生活目標 | 気持ちのよいあいさつをしよう |
| | 保健目標 | 早ね・早おきをしよう |

～授業参観のお知らせ～

- 日程と対象となる地区別下校の色
 - ・2月15日(木) ピンク・黄色コース
 - ・2月16日(金) 赤・オレンジ・水色コース
- 時間
 - ・5時間目 午後1時40分～午後2時25分
- ※ 詳細につきましては、後日配付される「3学期授業参観のお知らせ」をご覧ください。